

2024 年度事業報告書

2025 年 6 月 28 日

特定非営利活動法人 地球環境市民会議

I. 事業期間

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

II. 事業の成果

1. 特定非営利活動に係る事業に実施に関する事項

1.1 地域や地球規模の環境問題に関する情報の収集および情報の提供

(計 画)

- ①気候危機問題、エネルギー問題、プラスチック問題についての情報、脱炭素化社会に向けての海外・国内の動き、自治体の動きについて、地域や市民にとって必要な情報を収集し、必要に応じて情報発信を行います。
- ②CAN-Japan（気候行動ネットワーク・ジャパン）やおおさか環境ネットワーク、ワタシのミライなどと連携を取りながら、情報収集・情報交換を行うとともに活動を進めます。

(結果及び評価)

- ・ 環境問題・エネルギー問題などの他団体等が実施するセミナーへ積極的に参加し、情報を収集しました。
- ・ 環境問題に関する情報提供は主にイベント・学習会や CASA レター、E-mail ニュースを通じて行いました。意見や提言、他団体からの呼びかけへの賛同については、以下のとおりです。

2024 年 6 月	河合塾が、「気候危機」を疑うといったテーマ講演会を開催することへの、見直しの要請書を提出。
2024 年 6 月	気候変動イニシアティブからのメッセージ「1.5 度目標と整合する野心的な 2035 年目標を日本政府に求める」に賛同。 PARE の出力制御方式の改定を求める署名に賛同。
2024 年 9 月	大阪弁護士会からの「再審法の改正を求める」要望書に賛同。 「原発新增設費用を国民から徴収する制度（RAB モデル）導入 反対署名」に賛同。
2024 年 10 月	エネルギー基本計国について「意見箱」に「第 7 次エネルギー基本計画の策定に向けた 10 の要望と提案」を提出。
2025 年 1 月	第 7 次エネルギー基本計画案へのパブリックコメントを提出。 GX2040 ビジョン案へのパブリックコメントを提出。 地球温暖化対策計画案へのパブリックコメントを提出。

- ・ CAN-Japan やワタシのミライ、おおさか環境ネットワークの会議に参加し、情報収集や情報交換を行うとともに、提起された活動に参加しました。
- ・ 衆議院選挙の前には、温暖化対策について、政党へのアンケートを実施し、その結果をホームページで公表しました。

(実施場所) 大阪市内
(実施日時) 通年
(事業の対象者) 市民
(収入) 2,600円
(支出) 6,528円

1.2 地域や地球規模の環境問題に関する調査及び研究

(計画)

①連携していく自治体の温暖化対策について、地域住民が主体的な活動として取り組むことができる課題について必要な調査や研究を行います。

- ・自治体における温暖化対策に関わる連携にあたり、地域の各主体の取り組みや政策における課題や、より有効な対策のあり方等について、地域の人々と必要な調査や研究を行うとともに、情報提供を行っていきます。
- ・大阪府下の自治体の温暖化対策計画、取り組みの先進事例、市民・企業への補助金について、調査を行い、自治体議員や職員への情報提供をはかります。

②CC研の取り組みとして、2035年の排出削減の可能性をCASAモデルで検討することや地域での脱炭素の可能性について調査・研究を実施します。

- ・地域での市民を主体にした脱炭素政策の立案に向けての支援を行います。

(結果及び評価)

- ・連携する自治体については、島本町での活動を進めました。地域での市民共同発電の設置に向けての学習会の開催や発電所設置可能な設備の調査を支援するとともに、町職員との情報交換などを行いました。地域での脱炭素に向けた取り組みをすすめましたが、地元での活動グループで目指した学習会を通しての市民共同発電の設置に向けての組織づくりには至りませんでした。
- ・大阪府下の自治体の温暖化対策の調査を進めましたが、情報提供までには進みませんでした。次年度も継続します。
- ・CC研として、下期より2025年度の活動の検討と第7次エネルギー基本計画案の検討、2050年脱炭素社会の実現にむけての排出削減の可能性を検討しました。既存技術の普及で、温室効果ガスの排出量は、2019年比で2030年65%、2040年90%、2050年97%の削減が可能であり、吸収量を排出削減量に見込むと、温室効果ガスの実質排出ゼロが十分に可能であると試算しました。

(実施場所) 大阪市内
(実施日時) 通年
(事業の対象者) 市民
(収入) 0円
(支出) 45,072円

1.3 海外NGOとの情報交換、交流、及び国際会議への参加

(計画)

①気候変動問題の国際会議に代表を派遣し、気候行動ネットワーク(CAN)やCAN-Japanと連携して

活動するとともに、市民への情報提供に努めます。

(結果及び評価)

- ・ COP29 (国連気候変動枠組条約第 29 回締約国会議) には、代表を派遣し、国内外の環境 NGO と連携した活動を行いました。今年は 1 名の派遣となりましたが、会議の様式や成果、評価は現地からの「通信」で情報提供を行いました。また帰国後、CASA レターで報告も行いました。
- ・ COP29 は前述のとおり残念な結果になりましたが、国際交渉が気候変動枠組条約から京都議定書、そしてパリ協定に合意できたのは、IPCC の科学と世界の市民の高い関心だと思えます。世界の市民を代表しているのが、130 か国、1,800 を超える環境 NGO の世界的ネットワークである CAN (Climate Action Network) です。CASA は 1988 年の CAN の設立直後に CAN に加盟し、一貫して COP に代表を派遣し、CAN と協働して活動し、世界の市民の活動の一翼を担ってきました。気候変動問題が深刻化している今こそ、こうした国際的な活動が重要になっています。
- ・ 公害環境デー、いずみ市民生協、わかやま市民生協などから COP29 の報告の依頼があり、講師として報告を行いました。
- ・ CAN-Japan からの呼びかけに対応し、活動への参加など連携活動を行いました。



COP29 化石賞受賞のようす

(実施場所) 大阪市内
(実施日時) 11~12 月
(事業の対象者) 世界の NGO, 政府関係者、市民
(収入) 38,000 円
(支出) 909,919 円

1.4 市民講座、研究会、及びシンポジウムなどの開催

(計画)

- ①市民講座、プラごみ学習会、COP報告会、ちきゅうCaféは継続して開催します。
- ②時々の国内外の情勢に合わせたセミナーや学習会を開催します。
- ③議員研修会を開催します。
- ④生協等と連携し、創エネ・省エネ、プラゴミ問題等の学習会等を開催します。参加者を増やすための働きかけを強化します。
- ⑤地域や他団体や学校関係からの要請にこたえ、講師の派遣や出前授業・学習会を実施します。そのためにもスタッフはセミナー等に参加し情報収集や学習を行います。
- ⑥参加者同士の交流ができるイベント等も開催します。

(結果及び評価)

- ・ 2024 年度に開催したセミナー・学習会の実施状況は下の表のとおりです。
- ・ 各学習会への参加は、ほとんどが会員で、多くはEメールニュースを見ての申込でした。
- ・ 4 回にわたる地球環境市民講座には、のべ 148 名が参加しました。



ソーラーシェアリング見学

温暖化と食料危機をテーマに、農業や漁業の専門家の方から学びました。現地見学会は、コープこうべのエコファーム（ソーラーシェアリング）を訪問し、大学生 17 名の参加もありました。

- ・ 1 月に議員研修会を開催しました。再エネを活かした地域の活性化に成功したオーストリアの事例と、福知山市の再エネの普及のとりくみや、伊丹市の ZEB Ready 認証市庁舎の事例報告を行いました。実参加は 32 名でしたが、参加者には好評でした。チラシを見ての参加はほとんどなく、CASA で集約したメールでの案内による参加がほとんどで、参加者を増やすにはメールなどの個別情報の確保と参加者からの声掛けがポイントです。
- ・ ちきゅう Café は、新しい方の参加や参加者の交流できる場として、今年は趣向を変えて、「菜食と気候変動」をテーマに、菜食の座学と実際の調理実習を 2 回に分けて開催しました。参加は多くはありませんでしたが、調理実習では初めての参加者がほとんどで参加者間の交流もはかることができました。
- ・ 一人でも多くの方に温暖化問題を知っていただくための取り組みの提案を生協に行いました。いずみ市民生協では 3 つの委員会で学習会を開催しました。
- ・ 生協との連携の企画では、パルコープといずみ市民生協で、省エネチャレンジに引き続き取り組んでいます。マンネリ化という意見がある一方で、これを契機に毎年モチベーションを維持しているという意見もありました。取り組んでいる人で交流をしたいという要望もあり、パルコープで、省エネチャレンジ交流会を開催しました。参加者は少なかったですが、それぞれの工夫や困ったことを出しあい交流しました。

実施したイベントとその参加実績

(人)

企画名	開催日	計画	申し込み	実績
<第31回 地球環境市民講座>				
第1回 温暖化による食糧生産への影響～農業・水産業への影響～	6月8日	40	37	31
第2回 温暖化で日本近海の魚はどうなるの？	6月22日	40	37	25
第3回 温暖化の国内農業への影響と対策	7月6日	40	42	27
第4回 コープエコファーム見学	9月20日	20	37	35
<エネルギー基本計画学習会>				
第1回 エネルギー基本計画の位置づけと原発問題	10月10日	40	42	34
第2回 日本が目指すべきエネルギーの未来	10月22日	40	44	31
第3回 第7次エネルギー基本計画に意見を出そう パブコメ学習会	1月14日	30	58	42
プラスチックごみを考える学習会	5月30日	—	58	40
プラスチックごみを考える学習会 第12回プラスチック条約交渉	10月10日	—	35	30
COP29報告会	12月7日	60	60	49
第24回ちきゅうCafé 菜食と環境保護でハッピーに！	1月16日	20	15	11
第25回ちきゅうCafé 週イチベジにチャレンジ！（調理実習）	2月11日	20	14	10
運輸の脱炭素対策学習会	2月26日	40	18	18
省エネチャレンジ交流会（パルコープ）	3月4日	20	6	6

- ・ CASA の収入となる CASA スタッフの講師の派遣の取り組みを強化し、温暖化・省エネ問題・COP29 報告などで 16 件ありました。引き続き講師派遣の呼びかけを継続します。
- ・ 「ワタシのミライ」の活動に賛同し、実行委員団体として参加し、活動への参加や会員・地域の方への参加を呼びかけました。「ワタシのミライ・大阪」では、4 月 19 日にグローバル気候アクションとして、大阪駅でスタンディング行動（23 名参加）と 9 月 22 日に「世界気候アクション in 大阪」として大阪市中央公会堂前での集会と梅田方面までマーチを行い、80 名の参加がありました。活動の賛同者は、現在 44 名（団体 15 個人 29）で、CASA は事務局を担っています。
- ・ おおさか環境ネットワーク主催のイベントに参加しました。イベントでは情報提供だけでなく、工作体験など参加型のイベントを実施しました。
- ・ エコネット近畿からの呼びかけに応え、脱炭素社会実現のためのイベントに出展や参加しています。

実施日	イベント名	参加者	内容
7 月 30 日	わくわく夏休みお助け隊 (大阪産業創造館 6 階会議室)	約 69 名	夏休み自由研究の教材提供 省エネすごろく、省エネチャレンジ、プ ラゴミ調べ、都市の平均気温調べ
11 月 9 日	いずみ市民生協コープフェス タ (堺市大泉緑地)	約 140 名	パネル展示（温暖化の現状と対策） 温暖化知ってる度調査 工作教室（松ぼっくりツリー）
3 月 9 日	Happy Earth Day OSAKA 2025 (久宝寺緑地)	調査回答 者 14 名	パネル展示（温暖化の現状と対策） 温暖化知ってる度調査



ハッピーアースデイ大阪



気候アクション in 大阪



ちきゅう Café

1.5 ニュース並びに資料などの発行

(計 画)

- ①CASA レターの発行を 4 回、メールニュースの発行を随時行います。
- ②ウェブサイトの情報提供を強化します
- ③IPCC 第 6 次評価報告書第 2・第 3 作業部会報告書・統合報告書パンフを作成します
- ④温暖化資料集の改訂に着手します。
- ⑤CASA の紹介パンフの改訂を行います。

(結果及び評価)

- ・ CASA レターやメールニュースの発行は予定通り実施しました。メールニュースの発行は 64 回で、うちイベント以外の情報提供は 14 回にとどまりました。次年度は情報提供の強化をはかります。
- ・ CASA ホームページを随時更新し、取り組みなどに関する情報提供をすすめました。数年前に着手したホームページの改訂作業は止まっており、体制の変化もあり、当初の想定どおり進めるのは難しい状況です。再度の見直しが必要です。
- ・ IPCC 第 6 次評価報告書第 2・第 3 作業部会報告書・統合報告書パンフの作成、温暖化資料集の改訂は進みませんでした。CASA の紹介パンフは残数があつたため改定を実施しませんでした。

(実施場所) 大阪市内
(実施日時) 通年
(事業の対象者) 市民
(収入) 0 円
(支出) 915,183 円

1.6 環境に関連する物品の販売

(計画)

- ①CASAの収入の増加をはかるひとつの方法として、省エネ等に貢献できる商品やサービスの販売の検討を再開します。

(結果及び評価)

- ・ 物品の販売についての検討はできませんでした。

実施場所) 大阪市内
(実施日時) 通年
(事業の対象者) 市民
(収入) 4,298 円
(支出) 0 円

1.7 再生可能エネルギー利用の普及及び推進

(計画)

- ①鹿児島県南さつま市大浦の風力発電所の設置に向けて協力します。
- ②地域での再エネの普及について支援を行うとともに、CASAでの太陽光発電の設置について検討を始めます。

(結果及び評価)

- ・ 鹿児島県南さつま市大浦町の風力発電所の設置は、PARE に協力して進めましたが、昨今の資材等の高騰で工事費が当初計画の約 2 倍となり計画の抜本的見直しなどを検討しましたが採算性が見

込めず、FIT 制度を活用した設置を断念することとなりました。

- ・ 島本町での太陽光発電の設置にむけての支援を継続しています。CASA での設置に向けての検討は始めることができませんでした。

(実施場所) 大阪市内

(実施日時) 通年

(事業の対象者) 市民

(収入) 0円

(支出) 0円

1.8 その他目的を達成するために必要な事業

(計画)

- ①補助金や助成金団体の調査を行い、補助金・助成金獲得の申請を行います。
- ②PAREとの連携をはかり、活動を進めます。
- ③SOMPO環境財団の「CSOラーニング制度」を通じて、インターン生の受け入れを行います。

(結果及び評価)

- ・ 例年どおり、地球環境基金に応募しました。内容は、「日本の『脱炭素シナリオ』の作成と『気候市民会議』の手法による自治体の削減活動の強化支援」で申請しましたが、残念ながら採択はされませんでした。このほか新たな助成金などの申請は行っていません。
- ・ PARE とは、イベントの出展などで共同して取り組みをすすめました。
- ・ 2024年度は1名のインターンを受け入れました。今年度からは、新型コロナウイルス感染症以前と同様にイベント運営など業務補助や事務作業などを中心にかかわってもらいました。

(実施場所) 大阪市内

(実施日時) 通年

(事業の対象者) 市民

(収入) 50,000円

(支出) 0円

2. 組織活動

(計画)

- ①企画やイベントを通じて会員の加入の呼びかけを行います。
- ②会費のカード決済・コンビニ支払いを取り入れるとともに、寄附の支払方法を増やすなど、利便性の向上や手続きの簡素化をはかり利用拡大につなげます。
- ③新型コロナウイルス感染に配慮しながら、事務所の運営を行います。テレワーク、オンラインでの会議を継続しますが、スタッフや理事間での交流や情報交換が図れるよう会議の開催時間や方法を工夫します。

- ④郵送費や印刷費などのコストの削減をはかります。事務所の移転を進めます。
- ⑤企画運営委を継続して開催し、CASAの企画等について検討を進めるとともに、理事会の機能強化をはかります。
- ⑥個人情報保護法と電子帳簿保存法に対応した個人情報・データの管理を進めます。

(結果及び評価)

- ・ セミナー・イベントでの参加のほとんどがオンライン参加で、加入の呼びかけも実質的にはほとんどできませんでした。リアルの学習会では、パンフを配布し支援を呼びかけました。会員の減少は高齢化と死去による退会です。

	会員総数	正会員			賛助会員	
		個人	団体	学生会員	個人	団体
期首	275	227	33	0	15	0
期末	264	217	33	0	14	0
増減	△ 11	△ 10	0	0	△ 1	0
加入	3	1	1	0	1	0
退会	△ 14	△ 11	△ 1	0	△ 2	0

- ・ 会費・寄付のカード支払い・コンビニ決済の導入が決まりました。2025 年度よりスタートします。
- ・ 会議・打ち合わせなどに関して、引き続きオンライン開催を基本としました。コスト削減については、日常的には事務経費を中心にすすめ、一定の成果が出ました。事務所移転については条件の合う部屋の空き待ちとなっています。
- ・ スタッフや理事間での交流や情報交換が図れるよう会議の開催時間を夕方にしましたが、実参加は増えませんでした。
- ・ 企画運営委員会を引き続き開催し、企画や運営のすすめ方や総括について議論を行いました。
- ・ 個人情報保護法と電子帳簿保存法に対応した個人情報・データの管理を進めています。
- ・ 認定NPO法人の更新について、更新の審査を受け、更新することができました。

3. 総会の開催状況

3.1 第 24 期通常総会

(日時) 2024 年 6 月 8 日 (土) 10 時 30 分～11 時 35 分

(場所) 大阪消費者団体連絡会会議室、Web

(会員総数) 256 名

(出席者数) 107 名 (うち委任状出席者 52 名、書面議決者 36 名)

(内容) 第 1 号議案 第 24 期(2023 年度)事業報告の件
 第 2 号議案 第 24 期(2023 年度)活動決算承認と監査報告の件
 第 3 号議案 第 25 期(2024 年度)事業計画案承認の件

4. 理事会の開催状況

4.1 第1回理事会

(日時) 2024年7月18日(木) 16:00~17:45

(場所) CASA 事務所、WEB(Zoom)

(出席理事) 16名 (会場3名、WEB8名、書面決議2名、委任状3名)

(出席監事) 0名

(議長) 早川専務理事

(議案)

【協議事項】

1. 情勢について 2. エネルギー基本計画の学習会の開催について 3. 今後の取り組みについて

【報告事項】

1. 第24期通常総会報告 2. 第31回地球環境市民講座報告 3. プラスチックごみを考える学習会報告 4. 第10回企画・運営委員会報告 5. ワタシのミライ、ワタシのミライ・大阪の活動報告 6. JCIからのメッセージへの賛同 7. 河井塾講演会への要請書提出 8. この間の取り組み報告 9. PARE活動報告 10. 6月度決算報告 11. その他

4.2 第2回理事会

(日時) 2024年9月26日(木) 16:00~18:00

(場所) CASA 事務所、WEB(Zoom)

(出席理事) 13名 (会場1名、WEB9名、書面決議1名、委任状2名)

(出席監事) 0名

(議長) 早川専務理事

(議案)

【協議事項】

1. 情勢について 2. 議員研修会について 3. エネルギー基本計画の学習会開催について 4. COP29への代表派遣について 5. 今後の取り組みについて 6. 再審法改正への賛同について 7. 原発増設費用の国民負担制度の導入反対署名への賛同について

【報告事項】

1. 第31回地球環境市民講座報告 2. 第11回企画・運営委員会報告 3. ワタシのミライ、ワタシのミライ大阪の活動報告 4. この間の取り組み報告 5. PARE活動報告 6. 8月度決算報告

4.3 第3回理事会

(日時) 2024年12月12日(木) 16:00~18:05

(場所) CASA 事務所、WEB(Zoom)

(出席理事) 16名 (会場3名、WEB9名、委任4名)

(出席監事) 1名 (WEB1名)

(議長) 早川専務理事

【協議事項】

1. 情勢について
2. ちきゅう Café の開催について
3. 今後の取り組みについて
4. 事務局の体制について

【報告事項】

1. COP29 参加報告
2. COP29 報告会開催報告
3. エネルギー基本計画学習会開催報告
4. プラごみ学習会開催報告
5. この間の取り組み報告
6. 地球環境基金の申請
7. PARE 活動報告
8. 11 月度決算報告

4.4 第 4 回理事会

(日時) 2025 年 1 月 30 日(木) 16:00~18:00

(場所) CASA 事務所、WEB(Zoom)

(出席理事) 12 名 (会場 2 名、WEB8 名、書面決議 0 名、委任状 2 名)

(出席監事) 0 名

(議長) 早川専務理事

【協議事項】

1. 情勢について
2. 第 32 回地球環境市民講座について
3. 「運輸の脱炭素対策や政策」について
4. 第 25 回ちきゅう Café について
5. 今後の取り組みについて
6. 12 月度決算・年度末見直しについて

【報告事項】

1. 議員研修会開催報告
2. パブコメ学習会報告
3. 第 24 回ちきゅう Café 報告
4. この間の取り組み報告
5. 企画運営委員会報告
6. PARE 活動報告
7. その他

4.5 第 5 回理事会

(日時) 2025 年 3 月 17 日 (月) 16:00~18:20

(場所) CASA 事務所、WEB(Zoom)

(出席理事) 10 名 (会場 3 名、WEB5 名、書面決議 0 名、委任状 2 名)

(出席監事) 0 名

(議長) 早川専務理事

【協議事項】

1. 情勢について
2. 第 32 回地球環境市民講座について
3. 総会議案書第 1 次案について
4. 第 25 期通常総会について
5. 会費・寄付の取り扱いについて
6. 今後の取り組みについて
7. 2 月度決算について

【報告事項】

1. 第 25 回ちきゅう Café 報告
2. 運輸の脱炭素対策学習会報告
3. ワタシのミライの取り組み報告
4. この間の取り組み報告
5. PARE 活動報告
6. その他

4.6 第6回理事会

(日時) 2025年4月17日(木) 16:00~18:00

(場所) CASA 事務所、WEB(Zoom)

(出席理事) 12名(会場2名、WEB8名、書面決議1名、委任状1名)

(出席監事) 1名(WEB1名)

(議長) 早川専務理事

【協議事項】

1. 情勢について
2. 総会と総会議案書について
3. 会費・寄付の取り扱いについて
4. 会員の会費未納による退会手続きについて
5. 2024年度見通しと2025年度予算案について
6. 2025年度の企画について
7. 第32回地球環境市民講座について
8. 2025年度国際交渉について
9. 今後の取り組みについて
10. 3月度決算について

【報告事項】

1. 省エネチャレンジ
2. ワタシのミライ大阪スタンディング(グローバル気候ストライキ)について
3. この間の取り組み報告
4. PARE活動報告

4.7 第7回理事会

(日時) 2025年5月26日(月) 16:00~18:00

(場所) CASA 事務所、WEB(Zoom)

(出席理事) 17名(会場1名、WEB15名、書面決議0名、委任状1名)

(出席監事) 1名

(議長) 早川専務理事

【協議事項】

1. 情勢について
2. 2025年度第32回地球環境市民講座について
3. 総会議案書について
4. 2024年度決算と2025年度予算案について
5. 総会について
6. 総会招集通知、出席確認・書面決議・委任状について
7. 理事会の開催について
8. 今後の取り組みについて

【報告事項】

1. この間の取り組み
2. 会費・寄付の支払い状況
3. PARE活動報告